

## 地域の皆さまへ

皆さまには、日頃より四国電力の事業運営にご理解を賜り、誠にありがとうございます。  
本年1月、伊方発電所3号機は、通常運転を再開いたしました。

運転の再開にあたり、ご理解とご協力をいただきました地域の皆さまに、深く御礼申し上げます。

当社では、今後も、迅速・的確な情報公開を徹底することはもとより、引き続き、伊方発電所のさらなる安全性向上を図るとともに、すべての関係者が責任感と使命感をもって業務を遂行することで、発電所の安全・安定運転を継続してまいります。

四国電力株式会社 取締役社長  
社長執行役員

長井 啓介



伊方発電所では、発電所員の「3密」回避や環境に応じたマスクの適切な着用など、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めてまいります。



四国電力株式会社

YONDEN



# 皆さまからご信頼いただける伊方発電所を目指して

発電所を運営していくうえで私たちが何よりも大切にしているのは、安全を確保することです。伊方発電所で働く一人ひとりが責任感と使命感を胸に、安全を最優先にする文化と、これまで培ってきた技術力を次の世代にも確実に引き継ぎながら、より良い発電所を目指す取り組みを今日も続けています。



多田 所長

## 安全文化を育てていくために

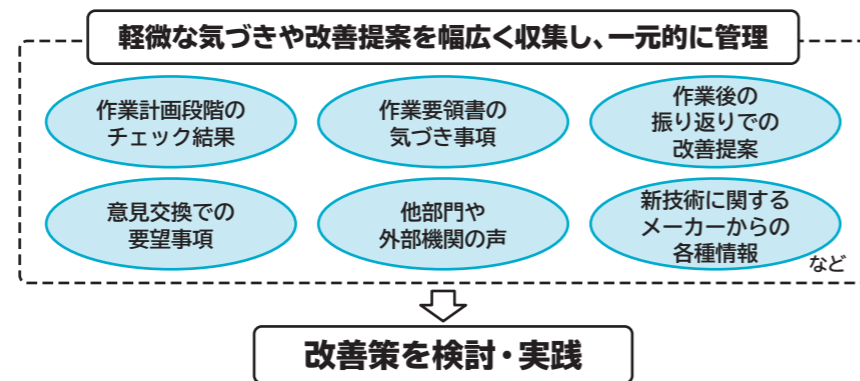
発電所で働く一人ひとりが基本ルールを遵守し、一つひとつの作業を慎重かつ確実に進めていくため、安全を最優先にする文化を一層確かなものとする取り組みを進めています。

- ▶ 社長をはじめとした当社の経営層・幹部と発電所員との双方向コミュニケーションの充実を図り、安全意識の共有に向けた意見交換の場を設けています。



経営層・幹部との継続的な意見交換を通じて安全意識を共有

- ▶ 日々の業務の中での軽微な気づきや改善提案を幅広く収集するしくみを構築し、改善活動を推進することで、トラブルの未然防止に努めています。



- ▶ 国の安全基準を満たすのみにとどまらず、発電所の安全性をさらに高めることができないか、各種設備とその運用の現状を自主的に評価し、改善を図る活動を継続的に実施しており、この結果は、「安全性向上評価」として定期的に取りまとめ、公表しています。



滝川 安全管理部長

本年7月、伊方発電所3号機では2回目となる安全性向上評価を取りまとめました。

日々の運転管理を通じた気づきや国内外の最新知見の収集・分析などの結果を手順書や訓練プログラムに反映し、一層の安全確保に向けた意識づけを図るなど、リスク低減に向けた取り組みを進めています。

今後も、「安全対策に終わりはない」という強い信念のもと、発電所の安全をたゆまず追い求めていきます。

## 技術力を維持し、高めていくために

3号機一基の体制となったことによる現場作業経験の減少やベテラン社員の定年退職に直面する中でも、現場の技術力を維持し、一層高めていくための取り組みを進めています。

- ▶ ベテラン社員の視点と知見を作業の要領書に反映しているほか、日々のパトロールや点検作業は若手社員とベテランを組み合わせるなど、技術継承に努めています。



ベテラン社員のノウハウを確実に受け継ぐ

- ▶ 原子力保安研修所(松山市)では、実際の発電所と同じ制御盤や配管などを用いながら、さまざまな事態を想定した訓練を継続的に行い、発電所員の力量を高めています。



全交流電源喪失など重大なトラブルに備えた訓練も入念に実施



池田 原子力保安研修所長

原子力保安研修所では、インストラクター自身の現場経験はもちろん、他の電力会社やメーカーなど外部から幅広く収集した情報も踏まえ、発電所員の教育・訓練に取り組んでいます。

発電所の安全・安定運転を実現するための土台を担う責任の重さを胸に刻みつつ、現場での取り組みとあわせて、技術力の維持・向上を図っていきたいと考えています。

伊方発電所でのこうした取り組みは、動画でもご紹介しています。



地域のケーブルテレビ局での放送  
(八西CATV、ケーブルネットワーク西瀬戸、西予CATV)



四国電力  
ホームページ





## 伊方発電所におけるこのほかの取り組みについて

### 使用済燃料乾式貯蔵施設について

- ▶ 昨年11月、伊方発電所で発生した使用済燃料を一時的に貯蔵する「乾式貯蔵施設」の設置工事を開始しました。

2025年2月の運用開始を目指し、地域の皆さまからのご理解を賜りながら、引き続き安全を最優先に工事を進めてまいります。



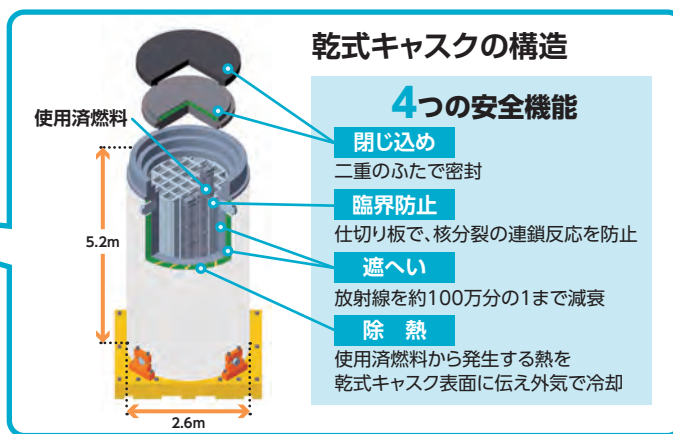
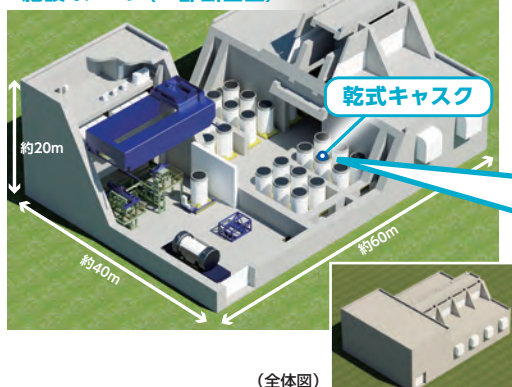
現在、建物の基礎部分や壁面を構築する工事を実施

### 乾式貯蔵施設とは

- ▶ 発電所内の使用済燃料ピット(プール)で十分に冷やされた使用済燃料を「乾式キャスク」と呼ばれる金属製の頑丈な容器に収納し、貯蔵する施設です。

水や電気を使わず、空気の自然な流れで冷やしながらか貯蔵することができ、安全性に優れています。

#### 施設イメージ(一部断面図)



### 1、2号機の状況について

- ▶ 安全を最優先に廃止措置作業を実施しており、現在、設備の放射線量のほか、放射線管理を必要としない区域(2次系)の設備を解体・撤去しています。約40年にわたる取り組みを、引き続き安全かつ着実に進めてまいります。



熱交換器など2次系設備を解体・撤去

### 使用済樹脂貯蔵タンクの増設計画について

- ▶ 伊方3号機の原子炉冷却水の浄化などに使用した樹脂を安全に貯蔵するタンク(使用済樹脂貯蔵タンク)の増設を、あらかじめ確保していた場所に計画しています。

この増設工事について、本年8月1日、愛媛県・伊方町に対し、安全協定に基づく事前協議を申し入れるとともに、国に対し、工事の基本設計に関する許可(原子炉設置変更許可)を申請しました。今後、愛媛県・伊方町の専門家会合や国の審査の場で、計画についてご説明してまいります。

■ 伊方発電所に対するご意見・ご要望 (平日9:00~17:00)

原子力本部 エネルギー広報グループ TEL:089-946-9730 伊方発電所 広報課 TEL:0894-39-1701